

2013年（平成25年）10月2日（水）

日本経済新聞

iPS利用の V Bに出資

ドーガン、ファンド設立

経営コンサルティング会社のドーガン・アドバイザーズ（福岡市、森大介社長）はiPS細胞を使った再生医療に取り組むベンチャー企業、ヘリオス（東京・中央）に出資するファンドを設立した。ファンドの規模は3億円。

ヘリオスは理化学研究所と組み、京都大学の山中伸弥教授が開発したiPS細胞を利用し、網膜の再生医療の実用化を目指している。ドーガンは「実用化できた場合に大きな収益が見込める」と判断し、出資を決めた。同ファンドはドーガンの子会社が運営し、個人や機関投資家が出資。ファンドによるiPS細胞事業への出資は珍しい。